

## 東海大学 工学部土木工学科准教授 梶田 佳孝氏：コメント概要

(各発表に対する意見・感想)

- 基調講演「公共交通再生元年とバス路線網の再編(熊本市)」について
  - ・補助金のお話があったように、補助額を固定し、事業者がそれ以上の経費削減や運行収入を増やせば、その分は事業者のメリットになるような仕組みをつくる等で事業者のやる気を出していけるとよい。
  
- 事例発表「松山市総合交通戦略(愛媛県松山市)」について
  - ・モビリティマネジメントの方向について、ハード面・ソフト面の全体で見ていくとよい。
  
  - ・市民のワークショップなど体験することは非常に重要。
  
  - ・再編については、大きく変化させると住民がついていけない場合もある。市民が対応できるまでの長めの期間を持たせて調整していくことも必要。
  
- 事例発表「公共交通を軸としたまちづくり(岐阜県岐阜市)」について
  - ・連節バスをシンボルとするBRT化を中心として、バス停上屋の整備や乗継拠点の強化などの利用環境改善をセットにした公共交通のネットワーク化に向けた総合的な対策はよい。
  
  - ・路線維持の基準は厳格に適用するのではなく、ある程度幅をもたせながら様子を見る必要がある。

以 上